



平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月9日

上場会社名 株式会社 プレナス 上場取引所 東
 コード番号 9945 URL http://www.plenus.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩井 辰男
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 丸山 俊也 (TEL) 092(452)3678
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	37,925	8.3	1,882	21.0	2,266	37.2	1,345	49.7
25年2月期第1四半期	35,025	17.5	1,554	31.5	1,651	21.9	899	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 1,349百万円(51.2%) 25年2月期第1四半期 892百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年2月期第1四半期	35	22	35	19
25年2月期第1四半期	23	53	23	52

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	81,792	—	57,637	—	70.3	—
25年2月期	81,429	—	57,242	—	70.1	—

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 57,490百万円 25年2月期 57,095百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	25 00	—	25 00	50 00
26年2月期(予想)	—	25 00	—	25 00	50 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	75,900	9.3	3,200	16.3	3,400	13.7	1,900	17.1	49	72
通期	153,300	8.3	7,200	11.2	7,600	6.2	4,200	44.5	109	92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年2月期1Q	44,392,680株	25年2月期	44,392,680株
26年2月期1Q	6,182,580株	25年2月期	6,182,520株
26年2月期1Q	38,210,154株	25年2月期1Q	38,210,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足資料の入手方法について)

決算補足資料は、平成25年7月9日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産や輸出に回復の動きが見られ、企業収益も改善傾向にあるなど、緩やかに持ち直してまいりました。

当外食産業におきましては、個人消費に一部明るさが見られたものの、企業間の競争激化などから、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、引き続き新規出店を推進すると共に、店舗のQSC(品質、接客、清潔感)向上、商品力の強化、効果的な販売促進活動の展開に努めました。また、「ほっともっと事業」において、加盟店を増加させるための取り組みを進めてまいりました。

国内における店舗展開につきましては、新規出店を43店舗、退店を4店舗行った結果、店舗数は39店舗増加し、2,952店舗となりました。また、改装・移転につきましては、19店舗実施いたしました。

海外における事業展開につきましては、平成25年3月にオーストラリア連邦においてPLENUS AusT PTY. LTD. (非連結子会社)を設立し、「やよい軒」の出店に向けた準備を進めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、379億25百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は18億82百万円(前年同期比21.0%増)、経常利益は22億66百万円(前年同期比37.2%増)、四半期純利益は13億45百万円(前年同期比49.7%増)となりました。売上高につきましては、新規出店による店舗数の増加が主な要因で、前年同期実績を上回りました。利益面につきましては、売上高の伸長に加え、仕入れコストの改善等により、前年同期実績を上回りました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

【ほっともっと事業】

「ほっともっと」創設5周年を記念し、「のり弁当」の魅力を改めて訴求するキャンペーンの実施や、「ハンバーグ弁当」のリニューアルを行うなど、定番商品の拡販に努めると共に、様々なシーンに合わせ気軽にご利用いただける4種類の「パーティプレート」を新たに発売し、幅広いニーズへの対応を図りました。これらの施策に加えて、さらなるブランド価値の向上を目指し、「ほっともっと」の指針となるブランドプロポジション(活力ある未来につづく食事を、いつもできたてに、もっと身近に。)、及びその指針を端的かつ象徴的に表現したブランドステートメント(fresh, friendly, fun)を制定いたしました。

また、今後のフランチャイズ展開を推進するため、オーナーの開業資金の負担を軽減した「ユニットFC制度」を活用し、新規オーナーの獲得を図ると共に、既存オーナーの多店舗化を積極的に推進いたしました。

さらに、爽やかで清潔感のある洗練された空間をコンセプトとしたデザインで、機能的で居心地のよい店内環境にこだわった新たなタイプの店舗を開発し、展開を始めました。

これらにより、既存店売上高は、前年同期比100.1%となりました。

店舗展開につきましては、新規出店を34店舗、退店を3店舗行った結果、店舗数は31店舗増加し、2,690店舗となりました。改装・移転につきましては、17店舗実施いたしました。

以上の結果、売上高は、310億92百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益は15億35百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

【やよい軒事業】

素材や商品のボリュームにこだわったメニューを提供することを基本に、季節感を取り入れたメニューをタイムリーに発売し、他店との差別化を図りました。また、テレビCMを放映し、新規顧客の獲得を図ると共に、キャンペーンを効果的に実施し、お客様の来店促進を図りました。

これらにより、既存店売上高は、前年同期比101.4%となりました。

店舗展開につきましては、北陸エリアに初出店するなど7店舗の新規出店を行い、店舗数は229店舗となりました。なお、改装を2店舗実施いたしました。

以上の結果、売上高は59億19百万円(前年同期比19.4%増)、営業利益は3億67百万円(前年同期比74.7%増)となりました。

【しゃぶしゃぶダイニングMK事業】

季節に合わせたメニューの発売や、カード会員向けに販売促進活動を行うと共に、店舗のQSCのさらなる向上に努め、お客様の来店促進を図りましたが、既存店売上高は、前年同期比98.1%にとどまりました。

店舗展開につきましては、新規出店を2店舗、退店を1店舗行った結果、店舗数は1店舗増加し、33店舗となりました。

以上の結果、売上高は9億13百万円(前年同期比23.9%増)、営業利益は11百万円(前年同期比120.7%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億63百万円増加し、817億92百万円となりました。内訳は、流動資産が8億46百万円減少したこと及び固定資産が12億10百万円増加したこととあります。流動資産の減少は、現金及び預金が12億88百万円減少したこと、商品及び製品が3億1百万円増加したこと、原材料及び貯蔵品が2億9百万円増加したことなどによるものです。また、固定資産の増加は、有形固定資産が5億40百万円増加したこと、投資その他の資産が6億80百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ30百万円減少し、241億55百万円となりました。内訳は、流動負債が88百万円減少したこと及び固定負債が57百万円増加したこととあります。流動負債の減少は、支払手形及び買掛金が7億15百万円増加したこと、未払法人税等が7億59百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億94百万円増加し、576億37百万円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益により13億45百万円増加し、剰余金の配当により9億55百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年4月12日に公表いたしました予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,351	20,062
受取手形及び売掛金	2,749	2,937
商品及び製品	4,735	5,037
原材料及び貯蔵品	73	282
その他	2,884	2,619
貸倒引当金	△329	△320
流動資産合計	31,465	30,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,554	23,992
その他(純額)	9,866	9,968
有形固定資産合計	33,420	33,961
無形固定資産		
投資その他の資産	452	441
その他	16,108	16,788
貸倒引当金	△18	△17
投資その他の資産合計	16,090	16,770
固定資産合計	49,963	51,173
資産合計	81,429	81,792
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,909	5,625
未払法人税等	1,632	872
賞与引当金	306	722
ポイント引当金	99	100
株主優待引当金	84	84
資産除去債務	29	11
その他	7,487	7,044
流動負債合計	14,550	14,461
固定負債		
訴訟損失引当金	1,339	1,339
資産除去債務	3,880	3,966
その他	4,416	4,387
固定負債合計	9,636	9,694
負債合計	24,186	24,155

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,922	4,922
利益剰余金	60,767	61,158
自己株式	△12,050	△12,050
株主資本合計	57,100	57,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	△1
その他の包括利益累計額合計	△5	△1
新株予約権	146	146
純資産合計	57,242	57,637
負債純資産合計	81,429	81,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	35,025	37,925
売上原価	16,835	17,370
売上総利益	18,190	20,554
販売費及び一般管理費	16,635	18,671
営業利益	1,554	1,882
営業外収益		
受取利息	17	12
受取配当金	0	0
為替差益	3	312
固定資産賃貸料	36	36
持分法による投資利益	0	4
その他	66	31
営業外収益合計	125	399
営業外費用		
固定資産賃貸費用	13	12
その他	15	3
営業外費用合計	29	15
経常利益	1,651	2,266
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	16	44
減損損失	1	20
災害義援金等	20	—
その他	1	6
特別損失合計	38	71
税金等調整前四半期純利益	1,613	2,194
法人税等	713	848
少数株主損益調整前四半期純利益	899	1,345
四半期純利益	899	1,345

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	899	1,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	3
その他の包括利益合計	△6	3
四半期包括利益	892	1,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	892	1,349
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ほっとも っと事業	やよい軒 事業	しゃぶし やぶダイ ニングM K事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高 (その他営業収入 を含む)	29,326	4,959	737	35,023	2	35,025	—	35,025
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	29,326	4,959	737	35,023	2	35,025	—	35,025
セグメント利益又は損失 (△)	1,373	210	5	1,588	△2	1,586	△31	1,554

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食に関する事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ほっとも っと事業	やよい軒 事業	しゃぶし やぶダイ ニングM K事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高 (その他営業収入 を含む)	31,092	5,919	913	37,925	—	37,925	—	37,925
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	31,092	5,919	913	37,925	—	37,925	—	37,925
セグメント利益	1,535	367	11	1,914	—	1,914	△32	1,882

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。